

日本金属学会 2023 年春期（第 172 回）講演大会参加

令和5年3月6日（火）に東京都立産業貿易センターで「日本金属学会 2023 年春期（第 172 回）講演大会」が開催されました。「Ru 錯体化学発酵法によるポリビニールアルコールの検出法の開発」についてグループ研究を行っている2年生理科生徒5名が高校生・高専学生ポスターセッションの部で発表を行いました。高校生・高専学生の発表は5本のみで、その他の151本は大学教授や大学院生の発表でした。今まで参加したことがある高校生が主に発表するポスター発表会とは異なり、専門性の高い発表が多く、本物の研究発表に触れることができました。生徒たち自分たちの研究内容に近いポスター発表を積極的に見学しました。研究内容だけでなく、発表の仕方、魅了するポスター作成の手法が大変参考になったようです。また、生徒たちが発表したときは、堂々と研究成果について発表し、質疑応答にしっかりと答えていました。



【参加生徒の感想】

- 高校ではなく大学の学会（ポスター発表会）に参加することができて良かった。アカデミックな雰囲気と最先端の化学の研究に触れることができ、自分自身も研究を頑張ろうという気持ちになった。
- 質疑応答で研究内容について御指摘をいただいた。今後の研究で改善していきたい。
- 専門性の高い研究が多く、見学した発表についてほとんど内容を理解することはできなかった。だから、もっと研究を頑張ろうと思った。
- レベルの高いポスター発表会だったが、学校で取り組んでいる研究の延長上にあると感じた。研究を頑張った良かった。